

2名の隊員を8月に委嘱するための補正予算が計上されました。自宅とは異なる環境で余暇と仕事を両立させながら働くワーケーションは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして急速に必要性が高まっていることから、全国的にワーケーションを推進していく取り組みが始まっており、複数の宿泊事業者等から、今後ワーケーションを推進していきたいという話も出ているため、今回事業化しようとするものです。都心から1時間半程度で来ることができる好立地、豊かな自然環境を活かし、新型コロナの影響で大きな被害を受けている観光業や飲食業への有効な支援策となることを期待しています。

②コミュニティ医療推進活動支援事業について（事業費約5,060万円）

地域の健康や医療体制の充実・強化を図るため、ふるさと納税を原資としたコミュニティ医療推進基金を活用して、地域医療

関連団体が実施するコミュニティ医療推進活動を支援する事業であり、安房医療福祉専門学校¹の運営や同校の学生の修学環境向上に対する補助金です。同校を卒業後に安房郡内の医療機関に入職された方が148名（卒業生の86.5%）で、この内の126名が館山市の医療機関で勤務されており、地域医療体制の維持に対し、安房医療福祉専門学校、そして卒業生の方々の貢献はとても大きなものとなっています。原資となるふるさと納税の更なる推進を図り、今後も継続かつ安定した支援をしていくことを要望しました。



終わりに



東京オリンピック・パラリンピックの開幕を前に、東京では7月12日から8月22日まで4回目の『緊急事態宣言』が発出され、千葉県、神奈川県、埼玉県でも『まん延防止等重点措置』が延長されました。また、ワクチン不足から新規の予約を一時停止する自治体も出てきています。7月10日時点で1回目の接種を受けた高齢者は全体の約76%、2回目も終えた高齢者は約46%となり、これに伴って高齢者の感染割合は減少傾

向にあります。感染拡大を抑えるためには、若い世代の接種率を上げていく必要がありますが、ワクチンが不足している今、私たち一人ひとりにできることは、不要不急の外出を控え、これまで行ってきたコロナ対策を徹底・継続していくことではないでしょうか。令和元年の台風被害以来厳しい状況が続いていますが、市民一人一人がお互いに支え合い、助け合うことが大切です。市民同士の支え合い、また、経営状況の厳しい事業者に対し、行政として最大限の支援をしていくよう求めていきます。